

アジア太平洋地域最大の不動産アセットマネジメント会社ESRとグリーン電力証書発行システムで連携、証書を発行

～追加性のある再エネ価値をテナント企業に販売開始～

株式会社エナーバンク（共同創業者 代表取締役：村中 健一、本社:東京都中央区）は、ESR株式会社（代表取締役：スチュアート・ギブソン、本社：東京都港区 以下、ESR）が開発・運営する物流施設レッドウッド藤井寺ディストリビューションセンターとESR久喜ディストリビューションセンター（DC）の自家消費型太陽光発電所に対してグリーン電力証書発行システム「グリーンチケット」で連携し、2022年3月にグリーン電力証書を発行しました。

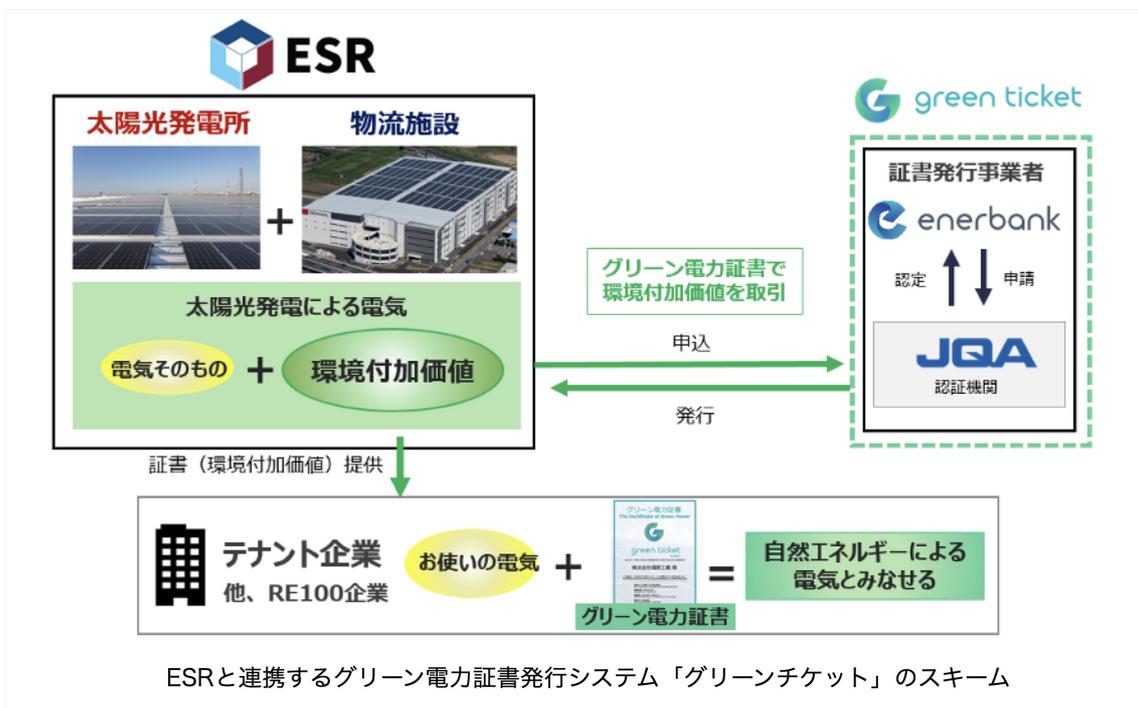


自家消費型太陽光発電所が稼働済のレッドウッド藤井寺DC(左)とESR久喜DC (右)

● グリーン電力証書発行システム「グリーンチケット」でESRと連携

ESRでは2021年8月「レッドウッド藤井寺DC」（大阪府藤井寺市）、同12月「ESR久喜DC」（埼玉県久喜市）で自家消費型太陽光発電所を稼働しています。エナーバンクがグリーン電力証書発行事業者となり、ESRが所有するグリーン電力設備認定を受けた太陽光発電設備からの環境価値を、当社のグリーン電力証書発行システム「グリーンチケット」を介してグリーン電力証書として発行します。グリーン電力証書発行システムではJQAに発電実績を認証された電力量の範囲内で、テナント企業様のみならずCO2排出量削減に積極的に取り組む一般企業様とも、グリーン電力証書により環境付加価値を取引することが可能です。

2022年3月24日、太陽光発電設備の設計施工等を手掛ける株式会社福原工業（代表取締役：福本明達 本社：大阪府大阪市）に対し、レッドウッド藤井寺DCで発電した自家消費電力の内、28万kWhを環境付加価値としたグリーン電力証書を発行しました。



● グリーン電力証書について

「グリーン電力証書システム」とは、省エネルギー（化石燃料の節減）や温暖化抑制といった再生可能エネルギーの「環境付加価値」を、証書発行事業者が第三者認証機関（一般財団法人日本品質保証機構 以下、JQA）の認証を得て、「グリーン電力証書」という形で可視化し取引する仕組みです。

グリーン電力証書を購入した企業・自治体等は、発電設備を持たなくても、証書に記載された電力量（kWh）相当分の再生可能エネルギーを使用したとみなされ、再生可能エネルギーの普及に貢献し、CO2削減を行っているといえます。また、CDP、RE100などの各種環境報告書に、再生可能エネルギーの使用量やCO2削減量として報告することができます。さらに、一定の手続きを経て、地球温暖化対策推進法の調整後温室効果ガスの削減や東京都や埼玉県等の環境条例における再エネクレジットとしても活用可能です。

一方、再生可能エネルギーの発電施設を持つ事業者は環境付加価値の提供による収入を得ることができ、グリーン電力の維持に貢献することができるため、この「追加性」がある点も重要視されています。

エナーバンクは2019年9月24日にグリーン電力証書発行事業者（事業者コードA65）として登録しています。

● グリーン電力証書発行システム「グリーンチケット」について

再生可能エネルギー発電由来の環境価値を発電事業者と創出し、グリーン電力証書発行システム「グリーンチケット」を介してグリーン電力証書の発行を行います。RE100企業やゼロカーボンシティ自治体、エネオクを利用したユーザーに、追加性のあるグリーン電力証書を販売し、購入企業のRE100の実現や環境貢献PRへの活用を支援します。

<<グリーンチケットサイト>>

<https://www.greenticket.jp/>

● ESRについて

ESRは先進的物流施設・データセンターを両輪としたニューエコノミー不動産プラットフォームを形成するアジア太平洋地域（APAC）最大の不動産アセットマネジメント会社です。

2006年にレッドウッド・グループとしてその歩みを始め、2016年イーシャンとの経営統合によりESR設立、日本法人レッドウッド・グループ・ジャパン株式会社は現・ESR株式会社に社名変更。2019年11月1日に香港証券取引所に上場。2022年1月20日にARAアセットマネジメントの買収完了、APAC最大かつ上場企業として世界第3位の不動産アセットマネジメント会社になりました。

現在、香港にグループ本社を置き、日本・中国・韓国・シンガポール・インド・オーストラリア・ニュージーランド・インドネシア・ベトナムで事業を展開し、欧米にもネットワークを広げています。

開発においては『HUMAN CENTRIC DESIGN.』を基本理念に、弊社施設で働くワーカーにとって快適で、環境にも配慮した施設の創出に力を入れています。日本では三大都市圏（首都圏・関西圏・中部圏）と九州を中心に物流施設・データセンターを開発しており、アジア最大の延床面積を誇る「ESR尼崎ディストリビューションセンター」他26の物流施設を竣工させ、12プロジェクトを開発中。

● エナードバンクについて

エナードバンクは、電力オークションシステムの開発・運営、グリーン電力証書発行事業、太陽光発電設備導入支援事業を行い、再生可能エネルギーの導入や、CO2削減ソリューションを展開しています。電力オークションサービス「エネオク」は、他者の応札額を見ながら再入札可能なリバースオークションを使って、電力需要家が最適な小売電気事業者を見つけられる仲介サービスです。環境省や国土交通省をはじめ、全国の24のゼロカーボンシティを目指す自治体における電力調達手法に採用され拡大しています。再生可能エネルギーによって得られた電力の環境付加価値を可視化、取引するプラットフォーム「グリーンチケット」も運営しています。

■ 会社概要

株式会社エナードバンク

共同創業者 代表取締役：村中健一

共同創業者 取締役COO：佐藤丞吾

共同創業者 取締役CTO：関根大輔

住所:103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1-17丹生ビル2階

電話:03-6868-8463

URL: <https://www.enerbank.co.jp/>

株式会社エナードバンクのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/38798

株式会社エナードバンクのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/38798

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社エナードバンク

担当：村中、山之内

住所：103-0027 東京都中央区日本橋2丁目1-17丹生ビル2階

電話：03-6868-8463

Mail：info@enerbank.jp

ホームページ：<https://www.enerbank.co.jp/>